

行事の 聴く お話

おしそうがつのお話

もうすぐお正月。みちるはおばあちゃんの家に、お餅つきのお手伝いにきましたよ。

大きな臼にほかほかのもち米を入れて、杵でぺったんぺったん！ みちるもおじいちゃんと一緒に、杵でお餅をつきました。つきたてのお餅をおばあちゃんが丸めます。おばあちゃんは大きめの丸いお餅と、それより少し小さいお餅を重ねて、「これは鏡餅よ。」と言いました。

のぞむが、「鏡餅って、なんでお正月に飾るの？」と聞くと、こうお話ししてくれました。

「昔はね、お正月に年神様という神様が、山から家にくると言われていたの。年神様は、家に幸せを運んでくれる神様のこと。お正月の前に、家をきれいに大掃除するのは、年神様に気持ちよく過ごしてもらうためなの。鏡餅は、年神様にお供えするものよ。

お正月が終わって、年神様が山に戻ると『鏡開き』といって、鏡餅を割って食べるの。年神様の力がこもった鏡餅を食べて、新しい年も元気に過ごそう！ ってね。お汁粉に入れるとおいしいよ。」

「わあ、食べたい！」

「ふふ。お正月がきたら、まずお雑煮やおせち料理を食べなくちゃね。」

「うん！」

みちるは、お正月がとつても楽しみになりました。

（おしまい）

●聴くお話は、耳で聴いただけで、様子を思い浮かべたり、内容を理解したりするお話です。小学生になつても必要とされる、「話を聴いて理解し、考えたり行動したりする力」を育てます。行事の導入や、ちょっとした空き時間にぜひご活用ください。

